

# 都農町地域資源マップ

## お好み焼き 集



神戸から移住してきたご夫婦が営むお好み焼き屋さん。都農ののどかさや暮らしやすさが移住の決め手だったそうだ。これからも都農町で暮らしていく中でシニアの方の暮らしを改善してほしいと語っている。その際に、「昨年廃校となった都農高校を再利用してシニア層の一人暮らし世帯が助け合いながら暮らせるようにしてほしい。」とのアイデアを話してくれた。ちなみにお昼はこのオムそばを食べた。美味しすぎた。

## 旧都農高等学校



令和3年に閉校した。旧都農高等学校をどのように活用していくかについては、町の方々も気になっているようだった。また、近くにいた中学生2人にお話を伺ったところ、都農町の良いところとして自然が豊かなところ、課題としてお店が少ないところが挙げられた。お話を伺った2人の中学生は町制施行100周年を記念してつくられたTシャツを着ており、町の活発な取り組みを感じられた。

## 居酒屋いろいろ



居酒屋いろいろの前店主にお話を伺った。サラリーマンや農家の方々などさまざまな人が訪れるらしい。都農町の魅力は、トマトやウニが有名であったり豊かな自然とスポーツが盛んなところだそう。毎年、夏におこなわれる都農神社夏祭りでは県内外各地からたくさんの方が訪れるという。



## ツノスポーツアカデミー



都農高校のグラウンドではヴェロスクロノス都農U-18のサッカーチームの高校生の人達が練習を行っていた。通信制の高校に通いながら寮生活をし、サッカーをしている。高校生は大阪や兵庫、静岡などの県外から来ている人も多くいた。監督はかつてスペインでのプレイ経験があり、寮ではスペイン語やポルトガル語、英語といった言語も教えている。事業主がアルバイトを提供して様々な体験をさせている「職育」という活動を行っており、選手生命を終えた選手のセカンドキャリアの幅を広めるためのものである。高校のチームだけでなく、大人のチームでも行われている。

## コミュニティホール駅前



この施設は、地区の公民館として利用されており、町民たちの交流の場になっている。この建物の近くにいらっした町の人にお話を伺ったところ、都農駅をきれいにしたい、また、建物の高さを、海を見るのを遮らない高さにするなどして、海がきれいに見えるようにしたいとのことだった。また、人口減少への対策として、都農町に戻ってきてもらったり、移住してもらったり、都農町をテレワークの地にしたいとも仰っていた。

## ホステル ALA



都農町のまちづくり会社イツノマが経営する2件の空き家を再生したホステル。ALAとは、フィンランド語で畑という意味で、ホステルの前には約5000㎡畑が広がっており、農業にも取り組んでいる。都農町で採れた野菜を使ったマルシェなども行われているんだとか。この会社は都農町のデジタル化推進や「つの未来学」というキャリア教育などに取り組んでおり、こういった活動の拠点ともなっている。都農町では、都農町デジタル・フレンドリーと呼ばれる一人一台タブレットを配布するなどデジタル化を推進しており、イツノマの方も高齢者向けのタブレット教室などを行っている。この活動は、グッドデザイン賞を受賞している。こうした活動により、高齢者が外に出る機会が増えたり、キャリア教育によって海外とつながることで中学生が社会的になったという。

## まとめ

この実習で一日を通して、都農が率先して行っているタブレットなどを用いた最先端のまちづくりや活動を実際に学ぶことができ、とても貴重な時間だった。特に都農のまちづくりを主な活動としている株式会社イツノマの方々の生の声を聞くことができ、これから地域資源創成学部で学ぶという実感が湧いた。この経験をこれからの学びに活かしていきたい。

## Bグループ (14班)